

第2回検討委員会の主な意見と対応方向

○熱回収施設等の周辺施設整備基本構想（素案）たたき台について

第2回検討委員会での主な意見		対応方向
p.1	・これまでの経緯について、協議会の結成やバリューアッププランについても期日を記載すると良い。また、ワークショップと基本構想をつなぐ文章を追加してほしい。	→ご意見を踏まえ、まちづくり協議会及びバリューアッププランの提出の日付について p.1「1 これまでの経緯」に記載しました。 →ワークショップと基本構想をつなぐ文章を p.1「1 これまでの経緯」及び p.3「2 基本構想策定の目的及び対象等」に記載しました。
p.3	・最終処分場等の上部利用について、「スポーツ施設」が一番上に出てくることについては、疑問を感じる。	→ p.3「2 基本構想策定の目的及び対象等（2）対象」の記載は、「町田市5カ年計画17-21」及び「町田市都市計画マスタープラン 実施方針編」をもとにしています。 →ご意見も踏まえ、p.9「4 各敷地の整備に関する基本的な考え方」における最終処分場等の整備における基本的な考え方では、「さまざまな世代が憩い、体力づくりもできる広場」をコンセプトとしています。
p.3	・健康増進温浴施設は不要ではないが、優先度がもう少し低いのではないかな。	→健康増進温浴施設の整備については、議会にも説明しており、「町田市5カ年計画17-21」にも位置づけられています。計画のとおり、進めていきます。
p.8	・都道などの人工的な構造物をネットワークにしながらまちづくりを進めるといった内容を加筆してほしい。	→ご意見を踏まえ、p.8「3 コンセプト（基本理念）」の文章を修正しました。
p.9	・峠谷地区の埋め立てについて、「想定します」ではなく、「整備をする」「整備をする必要がある」というような文言に書き直してほしい。	→ご意見を踏まえ、最終処分場等の整備に関する前提条件であることを明確にするために文章を修正しました。
p.9	・峠谷地区の埋め立てについて、ごみと土のサンドイッチでなければならないのは何故か。	→一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令に基づき、廃棄物の上に覆土を即日行っていました。
	・峠谷地区の残りの容量を教えてください。	→峠谷地区の残りの容量は約72,000 m ³ です。

	・町田リサイクル文化センターの建て替え工事が出る残土の量を教えてほしい。	→町田リサイクル文化センターの建て替え工事が出る残土の量は、15～17万m ³ を見込んでいますが、今後計画を進める中で確定していきます。
	・埋め立てすることは考えているのか。スポーツ専用グラウンドにするためには相当な埋め立てが必要である。 ・重さの問題で100%の埋め立てが難しいのであれば、許容範囲内で埋め立てを行えばよい。市と地元が一緒になって東京都に要請をすべき。	→基本構想において峠谷地区は、池の辺地区及び旧埋立地の標高に近い高さで整備されることを前提としています。

○最終処分場等の上部利用について

第2回検討委員会での主な意見		対応方向
緩衝斜面	・ローラー滑り台を設置することはできるか。	→尾根緑道側の出入口のために必要な園路の配置等を踏まえ、可能な範囲で遊具等を設置し、子どもが楽しく過ごせる場所にしていきます。
緩衝斜面	・民地の裏側の部分が出っ張った山になっているが、この部分は削れないのか。	→民有地裏側ののり面を削った場合に、民有地に影響が生じる可能性があるため、基本構想においては、削らないことを前提とします。
堰堤	・傾斜を利用した観客席をつくり、一番下の部分にステージを作ることについて、検討してほしい。 ・ステージは、下が調整池であり、傾斜も急なので難しいのではないか。	→斜面部は、最終処分場としての機能を損なわないことを前提に、散策路を設け、四季の花が楽しめる空間としていきます。p.13「池の辺地区の整備イメージ」をご参照ください。
堰堤	・散策路を作らないのであれば、花壇を作っても無駄になるだろう。	→斜面部は、最終処分場としての機能を損なわないことを前提に、散策路を設け、四季の花が楽しめる空間としていきます。p.13「池の辺地区の整備イメージ」をご参照ください。
平たん部	・多目的広場を大きく取った案2が良い。 ・尾根緑道に近い位置に子どもの自由に遊べる広場がある案1が良い。 ・子どもが自由に遊べる広場は、冒険広場の近くに置いたほうが良いと思う。案1も駐車場の広さを案2程度にすれば、より広く使えるのではないか。 ・案1ベースに、通路の位置をずらして多目	→ご意見を踏まえ、多目的広場の広さを確保しながら、子どもが自由に遊べる広場と、斜面を利用した遊具のある空間を隣接させ、ゾーニングとしました。p.12「最終処分場等の整備方針図」をご参照ください。

	的広場を広くとる折衷案としてはどうか。	
平たん部	・数人で独占されてしまうスポーツ施設ではなく、地域の人に来て自由に遊べる場所を重点的にやっていただきたい。スポーツをやるとしても、ゲートボールやグラウンドゴルフ、またはバスケットボールの練習やテニスの壁打ちを部分的にやる程度であろう。 ・忠生地区では、学校開放等を行っていてもグラウンドが無くて困っている。スポーツができる多目的広場を早く作っていただきたい。	→平たん部には、スポーツも楽しめる多目的広場を整備するとともに、バスケットボール等が楽しめる空間を整備することを記載します。
平たん部	・多目的広場については、仕上げによって何をして楽しめるかが異なってくる。仕上げについてはどのように考えているか。 ・多目的広場は、土で仕上げれば、様々なスポーツができる。 ・仕上げは、きれいな芝生ではなく、草地にして時々手入れをする程度で良いだろう。土は、ほこりの問題があり難しいだろう。 ・芝生は養生期間、土はほこりが課題になるので、草地が妥当。そうすると、池の辺地区はバトミントン等の手軽なスポーツのみとし、本格的なスポーツは峠谷地区に委ねるのが良いのではないか。	→多目的広場の仕上げは、最終処分場としての機能の確保及び周辺住宅地への影響等を考慮し、草地及びダスト舗装を基本として計画します。p.13「池の辺地区の整備イメージ」をご参照ください。
峠谷地区	・想定通り埋め立てた場合に、どのようなグラウンドが入れられるのか。	→想定通り埋め立てた場合、平たん部は約1.3ha となることが見込まれます。その場合、例えばソフトボール球場や少年野球場を想定しています。
周回路	・周回するウォーキングコースは、緩衝斜面の上を通して、坂道を作って変化をもたせるつもりで話していたが、今日の資料の案では全部平面地になっている。	→尾根緑道側の出入口と平たん部との高低差を考慮し、園路として求められる勾配の基準を踏まえて計画します。p.13「池の辺地区の整備イメージ」をご参照ください。
配慮すべき事項	・周辺の整備について、既存道路における自転車専用帯や信号などの整備についても書いてほしい。 ・レンタサイクルについて書いてあっても良いだろう。 ・尾根緑道について、歩道のネットワークの観点も加筆できると良い。	→基本構想では、「最終処分場等の上部を利用したスポーツ施設などの公園の整備」及び「町田市立室内プールの敷地内駐車場における温浴施設の周辺の整備」を検討対象とさせていただきます。

駐車場	・大勢の人に来てもらうためには、桜台側と旧埋立地側の両方に、できる限り広い駐車場が設けられると良い。	→駐車場は、池の辺地区の規模に基づき駐車場の必要台数を算出し、39 台程度を確保するよう計画します。
-----	--	--

○健康増進温浴施設について

第 2 回検討委員会での主な意見		対応方向
ロータリーの上部利用	・前回も話が出ていた、ロータリーの上部を活用する案がなぜ出てこないのか。納得できない。	→参考資料「健康増進温浴施設の簡易設計結果」を参照してください。
障害者駐車場	・身体障害者用駐車場が 2 台だけというのは、苦情が出るだろう。	→ロータリー及び健康増進温浴施設の 1 階部分に、可能な限り身体障害者用駐車場等の駐車スペースを確保するようにします。
南面道路との接続	・屋上に駐車場を置くという話が、素案の中に載っていない。 ・どこからつながるかによって勾配は変わるのではないかと。 ・南面道路と 2 階で接続し、2 階に駐車場を置くのが良いのではないかと。 ・細かい情報がなく、この委員会では結論を出せないだろう。基本設計の段階で再検討していただいてはどうか。	→健康増進温浴施設の屋上と南側道路の高低差を考慮すると、屋上への車路の勾配が法令の基準を超えるため、屋上への駐車場の設置は基本的に難しいと考えられます。そのため、駐車場の確保については、ロータリー及び健康増進温浴施設の 1 階部分に可能な限り確保することを計画します。
食堂機能	・室内プールの喫茶室を充実させればよく、新しい施設にはレストランはいらないのではないかと。 ・今の室内プールの厨房はものすごく狭いため、充実させる必要がある。 ・1 階のレストランは不要で、代わりに駐車場にしてはどうか。	→導入する機能については、検討委員会での議論を踏まえて、検討します。
休憩スペース	・下足と浴室の間にくつろぎのスペースがない。	→下足と浴室の間に休憩・待ち合わせスペースを設けるなど裸足のままで休憩できる配置案を、p. 18「健康増進温浴施設の主な機能の配置例」に記載しました。
多目的室	・カラオケは必要ないのでは。	→導入する機能については、検討委員会での議論を踏まえて、検討します。

○その他のご意見

第 2 回検討委員会での主な意見	対応方向
・旧埋立地を有効利用するためには、地域の資源化施設ができなければならない。上小山田地区の資	→早期実現に向けて取り組んでいきます。

源化施設と周辺道路整備は進捗がない状況だが、 実現する方向で進めてもらいたい。	
--	--